

RV215Wでのポート転送

目的

ポート転送は、インターネット経由で送信されるパケットをリダイレクトするために使用される機能です。アプリケーションによって使用されるポート番号は、アプリケーションのプログラマによって割り当てられることが多いです。ネットワーク外のデバイスがネットワーク内でホストされているアプリケーションに接続できるようにするには、NATを使用する場合にポート転送が必要です。ポート転送は必要な場合にのみ使用してください。パブリックネットワークへのポートを開くことはセキュリティリスクになります。RV215Wは、シングルポート転送、ポート範囲転送、およびポート範囲トリガーをサポートします。

この記事では、RV215Wのトリガーポートを転送および設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- ・ RV215W

[Software Version]

- ・1.1.0.5

ポート転送設定

シングルポート転送

単一ポート転送は、単一ポートの転送に使用される機能です。

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインし、[Firewall] > [Single Port Forwarding]を選択します。「単一ポート転送」ページが開きます。

Single Port Forwarding

Port Range Forwarding Rules Table							
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable	
HTTP	80	80	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
FTP	21	21	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
Telnet	23	23	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
SMTP	25	25	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
TFTP	69	69	UDP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
finger	79	79	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
NTP	123	123	UDP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
POP3	110	110	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
NNTP	119	119	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
SNMP	161	161	UDP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
CVS	2401	2401	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
SMS	2701	2701	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
SMS-mctf	2702	2702	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	

ステップ2:[Application]フィールドに、ポート転送を設定するアプリケーションの名前を入力します。この値は、ルータの動作には影響しません。

Port Range Forwarding Rules Table							
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable	
test_port			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	

ステップ3:[External Port]フィールドにポート番号を入力します。これは、ネットワーク外のデバイスを接続するポートです。

Port Range Forwarding Rules Table							
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable	
test_port	4242		TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	

ステップ4:[Internal Port]フィールドにポート番号を入力します。これは、ネットワーク内のデバイスがリスニングしているポートです。これは、[External Port]フィールドに入力した値とは異なる場合があります。RV215Wはパケットを外部ポートから内部ポートに転送します。

Port Range Forwarding Rules Table							
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable	
test_port	4242	4242	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	

ステップ5:[プロトコル]ドロップダウンリストから、アプリケーションに指定され、ルールで使用されるトランスポートプロトコルを選択します。

Port Range Forwarding Rules Table							
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable	
test_port	4242	4242	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>	

使用可能なオプションは次のとおりです。

- TCP : アプリケーションは伝送制御プロトコル(TCP)を使用します。TCPは、速度に対

する信頼性を提供するトランスポートプロトコルです。

- ・ UDP：アプリケーションはユーザデータグラムプロトコル(UDP)を使用します。UDPは、完全な信頼性に対して速度を提供するトランスポートプロトコルです。
- ・ TCPとUDP：アプリケーションはTCPとUDPの両方を使用します。

ステップ6:[インターフェイス]ドロップダウンリストから、ルールを適用するインターフェイスを選択します。

Single Port Forwarding

Port Range Forwarding Rules Table						
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable
test_port	4242	4242	TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>

使用可能なオプションは次のとおりです。

- ・ 両方（イーサネットと3G）：このルールは、RV215WがWANポートのイーサネット接続またはUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに提供される場合に適用されます。
- ・ イーサネット：このルールは、RV215WがWANポートのイーサネット接続を介してインターネットに提供されている場合にのみ適用されます。
- ・ 3G：このルールは、RV215WがUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに供給されている場合にのみ適用されます。

ステップ7:[IP Address]フィールドに、IPトラフィックの転送先となるLAN上のホストのIPアドレスを入力します。

Single Port Forwarding

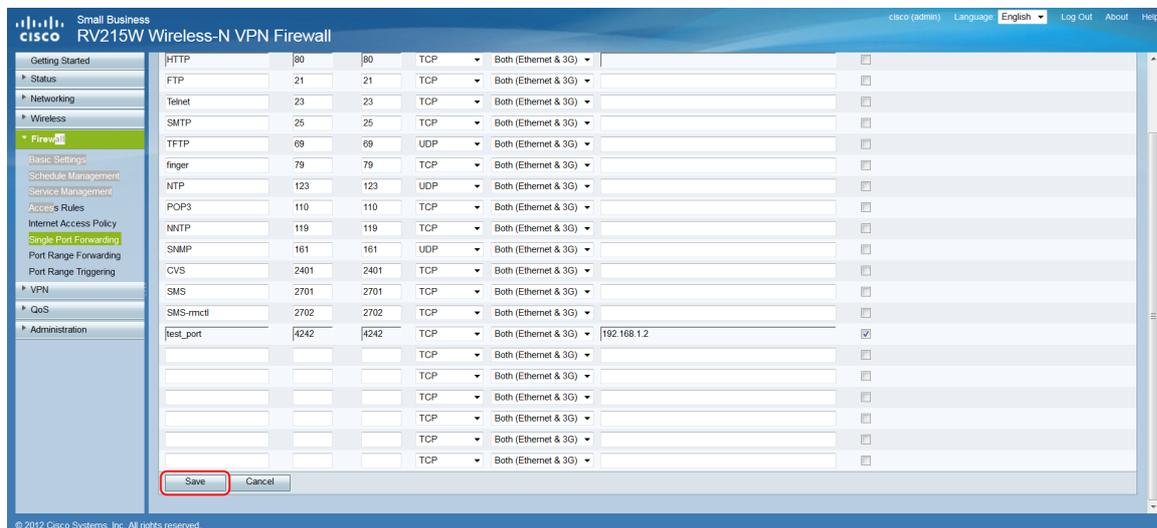
Port Range Forwarding Rules Table						
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable
test_port	4242	4242	TCP	Both (Ethernet & 3G)	192.168.1.2	<input type="checkbox"/>

ステップ8：設定したルールを有効にするには、[Enable] をオンにします。

Single Port Forwarding

Port Range Forwarding Rules Table						
Application	External Port	Internal Port	Protocol	Interface	IP Address	Enable
test_port	4242	4242	TCP	Both (Ethernet & 3G)	192.168.1.2	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ9:[Save]をクリックします。



ポート範囲転送

ポート範囲転送は、ポート範囲を開くために使用される機能です。ポート範囲の転送は、スタティックポートの転送とも見なされます。スタティックポート転送は、設定されたポートが常にオープンであるため、セキュリティリスクを増大させます。

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインし、[Firewall] > [Port Range Forwarding]を選択します。[ポート範囲転送]ページが開きます。

Application	Start	End	Protocol	Interface	IP Address	Enable
test1	6112	6119	TCP & UDP	Both (Ethernet & 3G)	192.168.1.1	<input checked="" type="checkbox"/>
			TCP	Both (Ethernet & 3G)		<input type="checkbox"/>

ステップ2: [Application]フィールドに、ポートを設定するアプリケーションの名前を入力します。

ステップ3: [Start]フィールドに、転送するポートの範囲を開始するポートを入力します。

ステップ4: [End]フィールドに、転送するポートの範囲を終了するポートを入力します。

ステップ5: プロトコルドロップダウンリストから、アプリケーションに指定され、ルールで使用されるトランスポートプロトコルを選択します。

- ・ TCP: アプリケーションは伝送制御プロトコル(TCP)を使用します。TCPは、速度に対する信頼性を提供するトランスポートプロトコルです。
- ・ UDP: アプリケーションはユーザデータグラムプロトコル(UDP)を使用します。UDPは、完全な信頼性に対して速度を提供するトランスポートプロトコルです。
- ・ TCPとUDP: アプリケーションはTCPとUDPの両方を使用します。

ステップ6: [Interface]ドロップダウンリストから、ルールが適用されるインターフェイスを選択します。

- ・ 両方（イーサネットと3G）：このルールは、RV215WがWANポートのイーサネット接続またはUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに提供される場合に適用されます。
- ・ イーサネット：このルールは、RV215WがWANポートのイーサネット接続を介してインターネットに提供されている場合にのみ適用されます。
- ・ 3G：このルールは、RV215WがUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに供給されている場合にのみ適用されます。

ステップ7:IPトラフィックの転送先となるLAN上のホストのIPアドレスを[IP Address]フィールドに入力します。

ステップ8：設定したルールを有効にするには、[Enable] をオンにします。

ステップ9:[Save]をクリックします。

トリガーするポート範囲

ポート範囲トリガーは、ダイナミックポート転送と見なされます。RV215Wに接続されているホストが、ポート範囲トリガールールで設定されているトリガーポートを開くと、RV215Wは設定されたポートをホストに転送します。ホストがトリガーポートを閉じると、RV215Wは転送ポートを閉じます。ポートはトリガー時にのみ開かれるため、ポートのトリガーは単一ポートの転送およびポート範囲の転送よりも安全です。トリガールールでは、RV215Wに接続されたコンピュータはルールを利用できるため、IPアドレスは必要ありませんが、一度に1台のコンピュータしか使用できません。

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Firewall] > [Port Range Triggering]を選択します。「ポート範囲トリガ」ページが開きます。

Port Range Forwarding Rules Table				
Application	Triggered Range	Forwarded Range	Interface	Enable
test1	6000 ~ 6000	6112 ~ 6119	Both (Ethernet & 3G)	<input checked="" type="checkbox"/>
			Both (Ethernet & 3G)	<input type="checkbox"/>

Save Cancel

ステップ2:[Application]フィールドに、ポートを設定するアプリケーションの名前を入力します。

ステップ3:[Triggered Range]フィールドに、ルールをトリガーするポートの範囲を入力します。

ステップ4:[Forwarded Range]フィールドに、ルールがトリガーされたときに転送されるポートの範囲を入力します。

ステップ5:[Interface]ドロップダウンリストから、ルールが適用されるインターフェイスを選択します。

- ・ 両方（イーサネットと3G）：このルールは、RV215WがWANポートのイーサネット接続またはUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに提供される場合に適用されます。

- ・ イーサネット：このルールは、RV215WがWANポートのイーサネット接続を介してインターネットに提供されている場合にのみ適用されます。
- ・ 3G：このルールは、RV215WがUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに供給されている場合にのみ適用されます。

ステップ6：設定したルールを有効にするには、[Enable] をオンにします。

ステップ7:[Save]をクリックします。